

世界史A 学習課題プリント 結びつく世界と近世の日本① (14~17世紀の世界と日本) 学習日： 月 日 ()	1年 組 番 氏名	点検
--	--------------	----

はじめに～ヨーロッパ人の日本に対する認識とは～



A () 世紀頃の日本の様子 『世界の記述(東方見聞録)』より
チパングは、東の方、大陸から1500マイルの大洋中にある、とても大きな島である。……この国ではいたるところに黄金が見つかるものだから、国人は誰でも莫大な黄金を所有している。……この島に生えている木々は、いずれも強い芳香を放ち、すこぶる貴重な香木であって、たとえば沈香その他に比べても決して劣らぬ高価なものである。黒胡椒はもとより、雪のような白胡椒も豊富なのである。黄金を初めとする様々な奇貨異物の産額も、これまた驚くばかりの巨額である。



B () 世紀頃の日本の様子 ザビエルがインドのゴアにいる宣教師に宛てた手紙より
カスチリア人は、この島々をプラタレアス群島(銀の島)と呼んでいる。……日本の島々の外に銀のある島などは発見されていない。

- Q1 A・Bの文章に登場している“高価なモノ”を全て書き出してみよう！
()
- Q2 AとBでは、ヨーロッパ人の日本に対する見方がどう変化しているか？
()

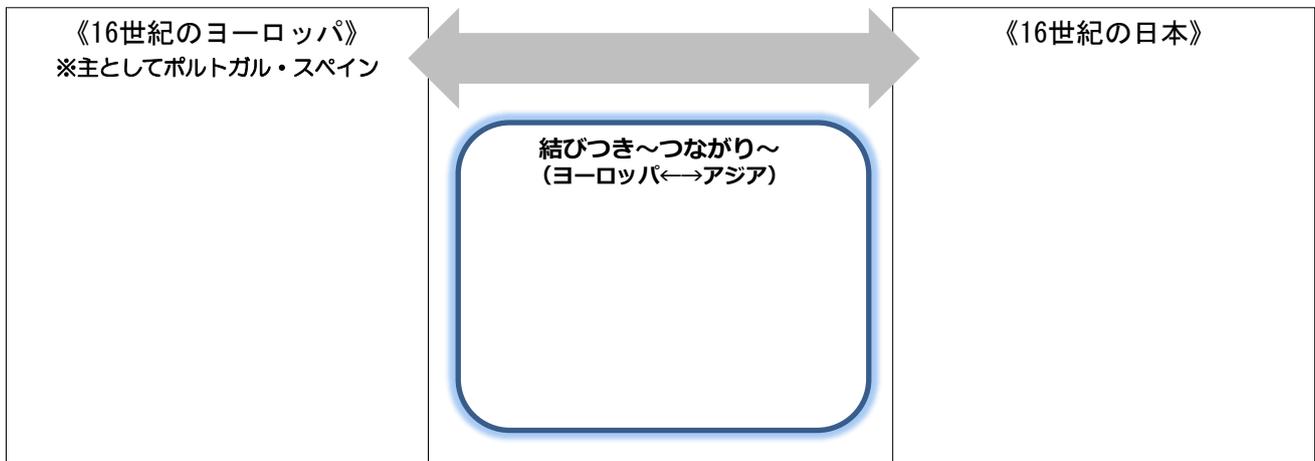


★さらに「教科書80ページ」を見てみると……

《学習課題一問いー》

なぜ

【課題】16世紀における世界の動きと日本との結びつき(つながり)について調べ、まとめよう。



《学習課題一問いーに対するあなたの考え》

★()とは？

※今日の授業を振り返り、感想や発見したこと、疑問に思ったことなどを記入しなさい。

【目標】「世界の一体化」についての関心と課題意識を高めている。(ワークシートの記述、授業への参加態度など)

【評価】 A…十分達成されている。 B…おおむね達成されている。 C…努力を要する。